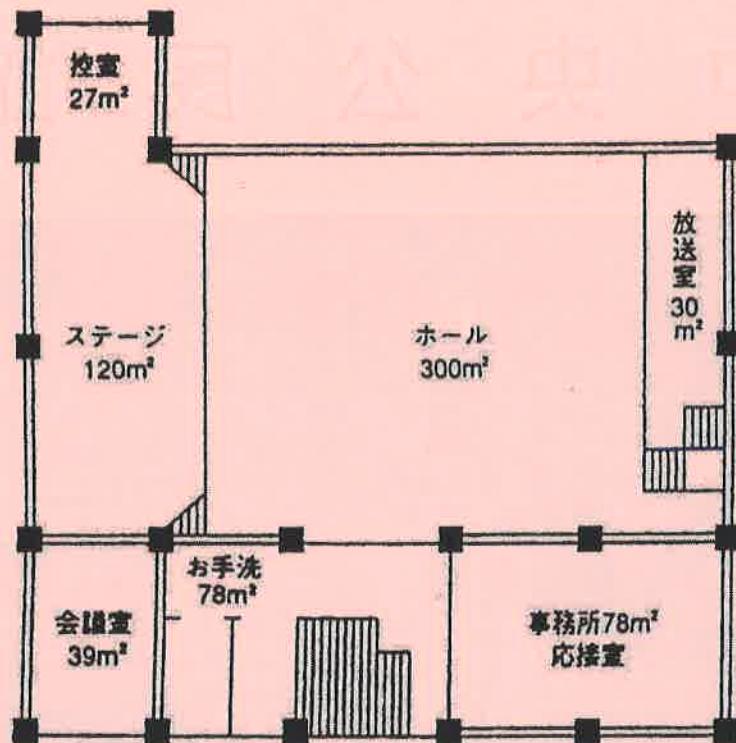


中 央 公 民 館



利用施設のご案内

〈中央公民館平面図〉（2階）



部屋名	収容人数	用途（備品）
ホール	300人程度	学習会・研修会・講演会・発表会・展示会等 (ピアノ・スクリーン・テーブル・イス・移動黒板)
会議室	15人程度	学習会・研修会・会議等 (テーブル・イス・黒板)

I 中央公民館の沿革

- 昭和50年 7月 11日 那覇市公民館条例が公布された。
(当条例は昭和50年 8月 1日から施行)
- 8月 1日 那覇市中央公民館が設置された。
(当施設は米国民政府が「那覇琉米文化会館」として、昭和44年 7月に建設し、文化活動の場として市民へ利用されてきたが、本土復帰と同時に日本政府に譲渡された。その後、昭和48年 6月 22日に那覇市へ譲渡され、那覇市企画部の所管のもとに那覇市文化センターとして活用されてきた。昭和50年 8月 1日に教育委員会に移管され、1階に那覇市立図書館と那覇市立視聴覚ライブラリーが、2階に那覇市中央公民館がそれぞれ設置された。)
- 館長（兼務） 山元英美子、主査 与儀喜常、主事 佐久本全が発令された。
- 社会教育指導員 伊良波長正、国吉千代子が配置された。
- 那覇市中央公民館の開館式が挙行された。
- 10月 1日 那覇市公民館運営審議会委員10人が委嘱された。（以後 2年毎に改選）
- 10月 7日 市民講座が開始された。
- 11月 7日 第1回那覇市公民館運営審議会が開かれ、会長に安里盛吉氏、副会長に富名腰朝氏が選任された。
- 12月 6日 沖縄県公民館大会が那覇市で開催された。
- 昭和51年 5月 30日 放送機材が中央公民館に整備された。
- 8月 20日 館長 山元英美子が辞職し、新たに館長（兼）金城幸明が発令された。
- 9月 1日 おかあさんのテレビ学級が開設され、放送利用が開始された。
- 10月 1日 主事が職名変更になり社会教育主事が発令された。
- 昭和53年 1月 1日 館長 金城幸明が配置替えにより、館長（兼）浦本茂則が発令された。
- 昭和54年 5月 1日 館長（兼任）浦本茂則が専任館長として発令された。
- 昭和57年 5月 1日 館長 浦本茂則が配置替えにより、館長 長堂忠一が発令された。
- 昭和59年 5月 1日 定数増（主事 1）
- 昭和61年 2月 16日 第33回沖縄県社会教育研究大会において、優良公民館として表彰される。
- 4月 1日 主事が公民館主事に職名変更された。
- 平成元年 4月 1日 館長 長堂忠一が配置替えにより、館長 国場幸忠が発令された。
- 平成2年 4月 1日 館長 国場幸忠が退職により、館長 上原武雄が発令された。
- 6月 3日 中央公民館利用団体連絡協議会が結成された。
- 12月 7日 第20回沖縄県公民館研究大会において、優良公民館として表彰される。
- 平成3年 2月 1日 創立15周年記念誌が発行された。
- 平成4年 4月 1日 館長 上原武雄が配置替えにより、館長 佐久本全が発令された。
- 平成6年 9月 21日 第45回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）が、那覇市で開催される。
- 平成7年 4月 1日 館長 佐久本全が配置替えにより、館長 山内昌志郎が発令された。
- 平成7年 8月 1日 館長 山内昌志郎が配置替えにより、館長 伊元源治が発令された。
- 平成8年 4月 1日 公民館主事 1減に伴い社会教育指導員 1増
- 平成10年 11月 2日 第51回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。

平成12年4月1日 館長 伊元源治が退職により、館長 前原信喜が発令された。

平成13年11月16日 全国公民館連合会設立50周年記念式典において、館長 前原信喜が全国公民館優良職員表彰を受ける。

平成14年4月1日 館長 前原信喜が配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。

平成15年4月1日 主査1増（時限配置）

平成16年3月23日 公民館条例施行規則が改正され、平成16年4月1日より、若狭公民館に非常勤館長が配置された。

平成16年3月31日 主査1減（時限配置解除）

平成16年11月9日 全国公民館連合会より、館長 高江洲盛雄が全国公民館優良職員表彰を受ける。

平成16年12月27日 公民館条例の改正により公民館運営審議会が廃止された。

平成17年4月1日 館長 高江洲盛雄が退職により、館長 新垣紀夫が発令された。

社会教育指導員1減

平成19年4月1日 館長 新垣紀夫が配置替えにより、館長 入慶田本浩徳が発令された。

社会教育指導員1増

平成21年4月1日 館長 入慶田本浩徳が退職により、館長 前原信喜が発令された。

平成22年4月1日 館長 前原信喜が参事兼館長として発令された。

平成22年11月11日～12日 第61回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）が、那覇市（中央公民館ほか7会場）で開催される。

平成23年10月20日 第33回全国公民館研究集会 in さが（佐賀県）において、参事兼館長 前原信喜が全国公民館永年勤続職員表彰を受ける。

平成24年4月1日 参事兼館長 前原信喜が退職により、館長 手登根朗が発令された。

平成26年4月1日 館長 手登根朗が配置替えにより、館長 具志真孝が発令された。

平成27年4月1日 主任公民館主事（主事級）1減、社会教育指導員1減

平成28年3月 中央公民館開館40周年記念誌が発刊された。

平成28年4月1日 館長 具志真孝が退職により、館長 古塚達朗が発令された。

平成30年11月15日～16日 第69回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）および第48回沖縄県公民館研究大会（那覇大会）が、那覇市（牧志駅前ほしごら公民館ほか6会場）で開催される。

平成31年4月1日 館長 古塚達朗が退職により、館長 照屋満が発令された。

II 令和2年度中央公民館事業目次

1 学習風景 [写真]	13
2 成人一般対象事業	
〔1〕市民講座	
◇「発達凸凹の子ども達・・・多様性を認める・・・」	14
◇ファミリーヒストリー 家族の軌跡 生きてきた証を残そう	15
〔2〕成人講座	
◇ケガしにくい体づくり～ウォーキング講座～	16
3 高齢者対象事業	
〔1〕高齢者学級	
◇肌元気！日常使いナチュラルメイク講座	17
◇焼物から知る沖縄の歴史～現代焼物はどうなっているの？～	18
4 青少年対象事業	
〔1〕少年教室	
◇少年教室 in 秋～沖縄の山を体感しよう！～	19
〔2〕青年講座	
◇ヒマワリを咲かせよう～サンフラワープロジェクト in 与儀公園	20
〔3〕親子ふれあい教室	
◇子ども わくわくプログラミング	21
◇子ども わくわくプログラミングⅡ	22
◇『さくらねこ』って何！？	23
5 家庭教育事業	
〔1〕家庭教育学級	
◇自己肯定感＊自分にOK出してますか＊	24
◇学校に行けない子ども達～世界を広げる～	25
◇他人事じやない更年期～アナタもワタシもお年頃～	26
〔2〕乳幼児学級	
◇「はじめての育児～すっきり・にこにこ・のびのび子育て～」	27
〔3〕読み聞かせ養成講座	
◇読み聞かせ養成講座（初級編）	28
6 その他の事業	
〔1〕地域連携事業	
◇泳げるようになろうよ！水泳教室	29
◇あつまれ！上間っ子 ラジオ体操♪	30
〔2〕子どもの居場所	
◇遊びにおいでよ！（春休み）	31
◇遊びにおいでよ！（夏休み）	32
◇遊びにおいでよ！（秋休み）	33

1 学習風景



高齢者学級
「肌元気！日常使いナチュラルメイク講座」



少年教室
「少年教室 in 秋～沖縄の山を体感しよう～」



青年講座
「ヒマワリを咲かせよう～サンフラワー
プロジェクト in 与儀公園」



家庭教育学級
「自己肯定感＊自分にOK出しますか？＊」



読み聞かせ養成講座
「読み聞かせ養成講座（初級編）」



子どもの居場所
「遊びにおいでよ！IN＊夏休み＊」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

発達凸凹の子ども達・・・多様性を認める・・・

趣 旨：近年問題となっている「ひきこもり」にも密接な関係がある「おとなの発達障害」。その対応策は発達障害を理解することから始まる。また中央公民館家庭教育学級「学校に行けない子ども達」の受講生が親と子の学びのために集まっている「蓄の会」からの要望もある。誰が聞いても理解しやすいような講演で市民に届ける。

期 日：令和元年12月8日（日）

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤

受 講 料：無料

定 員：50人

申込人数：93人

参加人数：81人

講 師：平岡禎之氏・平岡成子氏



《アンケートより》

- ・イラストが多く、イメージがつきやすくて分かりやすかったと思います。
- ・偉人や知っている人の事例を例えて説明していく、理解が深まったと思います。当事者の方の言葉は分かりやすかったです。
- ・子育てでよく壁にぶつかり、どうしたらしいのか分からなくなったりするので、ありがとうございました講演会でした。
- ・とても分かりやすく参考になりました。学校でも講演をしていただき、教員や保護者にも広げていきたいと思いました。
- ・ありがとうございました。助かりました。
- ・大変素晴らしい貴重なお話を本当にどうもありがとうございました。平岡さんご家族のこのような活動のおかげで救われる人々がどんなに多くいるのか?と思うと本当に感謝しかありません。これからもずっと応援していますので、ご活躍頑張ってください。本当にありがとうございました!
- ・平岡さんの講演を聞きたいと前から思っていたので、今回参加できて嬉しく感じています。仕事と家でも今回の内容を活かして、自分も子どもも生きやすくなるように工夫したいです。
- ・私自身、アスペルガーの症状で悩んでいたのでとても参考になった。体験談を交えていたので、とても分かりやすかったです。来てよかったです。ありがとうございました。
- ・当事者の困り感、普通がどれだけ難しいのか、不安になるのか、パニックになるのかを知る事ができました。その人を理解する事、通訳のような役割ができるように色々な工夫を重ねる事が大切だと感じました(その人のペースで)。ありがとうございました。
- ・今日はとてもいいお話を聞くことができました。子育てで日々悩む毎日ですが、今回の講座でたくさんのヒントを得る事ができ本当に参加できて良かったです。ありがとうございました。
- ・教育関係者やいろいろな人々にこの講座を受けて欲しいと思いました。

《まとめ》

家庭教育に通じるテーマだが、多くの市民に学んで欲しい内容であったため、市民講座で開催した。多数の受講者となった理由には、昨今、社会問題として不登校やひきこもりが注目されていることから、多くの人が「発達障害」について注目していると考えられる。講師が当事者の視点を持っていることで深い学びになった。感想にも「大」満足と加える人が複数見られた。

ファミリーヒストリー 家族の軌跡 生きてきた証を残そう

趣旨：個人で持っている懐かしい写真や8mmフィルム。世代交代で受け継がれずに処分されることが多い。親や自分のルーツを知り、最小限の情報を後世に残していくなら、それは家族の宝になる。そしてそれは那覇の貴重な史的資料となるものも多いと推測される。それぞれが写真を持ち寄り、親や親戚からヒアリングして「家族の軌跡」を作る意義を伝える。懐かしい話で盛り上がり語りつつも、写真の持つ記録性・社会性を考えていく。

期間：令和2年1月26日（日）～2月9日（日）全3回

時間：10:00～12:00

場所：那覇市中央図書館研修室・那覇市中央公民館ホール

対象：那覇市在住・在勤・在学の市民の方

受講料：無料

定員：20人

申込人数：19人

参加延べ人数：49人

講師：外間 政明（那覇市歴史博物館）

真喜屋 力（沖縄アーカイブ研究所）仲間 公彦（沖縄アーカイブ研究所）



No	期日	内 容	講 師	人數
1	1/26(日)	後世に遺すべき写真の選び方を知る	外間 政明	15人
2	2/2(日)	沖縄アーカイブの8mmフィルムを鑑賞	真喜屋 力・仲間 公彦	17人
3	2/9(日)	個々のファミリーヒストリーについてアドバイス	外間 政明	17人

《アンケートより》

- ・「家族の軌跡」講座一度企画してください。1年かけて我が家を整理したいと思います。今回、整理する良い勉強になりました。
- ・初めて市民講座に参加させていただきました。とても勉強になりました。今回は知人に誘われての参加でしたが、今後は市民講座を積極的に受講したいと思いました。
- ・父のトゥシビー祝いに向けて父の軌跡を残したいと思い参加しました。写真にメモを付けることで大切な1枚になり、後世に伝える事ができるという事を知ることができたのは、とても良かったです。
- ・今回の講座は写真している者にちょ～有意義な課題だったと思います。家族写真がもらい火事で全て消失。写真を始めて10年。それでもよかったですかなと今は思います。ありがとうございました。
- ・講師のお話は全て納得！写真を見ながら昔のことに思いを馳せ嬉しい思いにかられました。
- ・親から聞いた歴史と今回の映像がリンクして、すごく良く分かった。両親も一緒に見れたらよかったです。
- ・来年も是非、お願いします。次回こそファミリーヒストリーを作りたい。そのためには整理しておきます。
- ・昔懐かしい映像が見られてよかったです。街並み、服装、政治情勢など歴史・文化を感じます。
- ・写真保存の重要性をあらためて認識しました。家族の軌跡を写真により、是非残したいと思いました。
- ・残された写真の整理に苦慮していたところにいい機会でした。また、古い写真を改めてみて、家族の軌跡をはっきり認識し、深く知りたいと思いました。

《まとめ》 参加者がそれぞれの目的をもって受講していたので、深い学びになった。最終日はデジタル化された写真をプロジェクターで映し出したが、驚きの声が上がり笑顔も見られた。アンケートからも写真を遺していく重要性を学べたと同時に沖縄の懐かしい光景を見たことが有意義であったことが汲み取れる。古い写真をアルバムとして遺すのに誰か一人に絞るのか、家系全体としてなのか。ポイントを講師に教えてもらう事で、記録を取ってそれを伝えていく大切さを受講生は学んだ。

[2] 成人講座

ケガしにくい体づくり～ウォーキング講座～

趣 旨：年齢に関係なく運動する楽しみや継続性を持てるように、ウォーキングを通して運動習慣を身に付ける。

期 間：令和元年12月16日（月）・25日（水）・令和2年1月6日（月）・13日（月）計4回

時 間：19:00～21:00

場 所：那覇市民体育館（サブアリーナ、会議室）

対 象：那覇市在住・在勤・在学の20歳～59歳まで

受 講 料：無料（但し、保険料300円は自己負担）

定 員：30人

申込人数：14人（うち受講決定人数14人）

参加延べ人数：32人

講 師：比嘉 剛（G-PROUD代表）

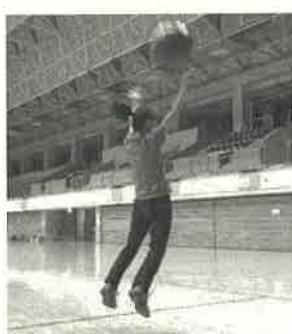


《学習プログラム》

回数	日 程	内 容	参加人数
1	12月16日（月） 19:00～21:00	・運動の基礎知識 ・機能回復エクササイズ	10人
2	12月25日（水） 19:00～21:00	・柔軟性・動作チェック ・反応能力、瞬発力を鍛える	6人
3	1月6日（月） 19:00～21:00	・筋力トレーニング ・万能スクワット等	9人
4	1月13日（月） 19:00～21:00	・筋力トレーニング ・ウォーキング実践	7人

《アンケートより》

- ・体の動かし方を、理論を交えて教えて頂いたのでとてもよかったです。
- ・たいへん自分にとって良かった（体の動かし方、使い方を学べたので）
- ・何人かでやると、自分もやる気が出て楽しく運動ができました。
- ・体を動かす動機づけになり良かったです。
- ・運動の必要性を感じつつ長続きしないので、たまたまゆるい感じの講座内容に少人数で良かったです。



《まとめ》

トレーニングに入る前に、体の仕組みや筋肉の動きを自然と使えるよう意識が変わった受講生。ケガをしない体とは？しっかり学んだ上ででのトレーニングに熱が入っていました。受講生同士の仲間意識も生まれ運動がより身近になった講座となりました。

3 高齢者対策事業

[1] 高齢者学級

肌元気！日常使いナチュラルメイク講座

趣 旨：明るく元気に見えるメイクで自信をつけて、シニアライフをエンジョイしよう。

期 日：令和元年7月17日（水）

時 間：10:00～12:00、

場 所：中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の方

受 講 料：無料（但し、普段お使いのメイク道具を持参すること）

定 員：20人

申込人数：20人（うち受講決定人数20人）

参加人数：13人

講 師：友利 優子（株式会社 Life is Love 「PLUS+」）

助 手：仲里 直美

学習プログラム：



回数	内 容
1	・年齢に合わせたメイクや肌のケア方法について ・血色のよいメイク術について ・BBクリームとCCクリームの違いと使い方について

《アンケートより》

- ・専門的に教えてもらったので良かった。
- ・シニアメイクポイントに始まり、顔や皮膚の状態に合わせた個別のメイクポイントアドバイスありで良かった。
- ・若い時のままの化粧の仕方なので、年齢にあったものか？（色味等）を知りたかった。
- ・ひとりひとりに丁寧な指導をしてくれて良かった。
- ・個人的な指導もあって良かった。
- ・女性が元気になる講座でとても良かったです。



《まとめ》

年齢が上がると同時に、高齢者向けのメイク講座があまり無いことにあわせ実施したところ、年齢に合わせたメイク術を学ぶ良い機会になりました。普段メイクをされない方でも、眉の書き方が知りたいなど、個々の悩みがありました。簡単なメイク術を学べたことで、受講生の満足度が高い講座になりました。

焼物から知る沖縄の歴史～現代焼物はどうなっているの？～

趣 旨：壺屋焼から那覇の時代背景を知り、現代焼物がどのように変化しているのかを学習する。

期 日：令和元年11月13日（水）

時 間：10:00～12:00

場 所：中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の方

受 講 料：無料

定 員：50人

申込人数：16人（うち受講決定人数16人）

参加人数：13人

講 師：伊集 守道 氏（那覇市立焼物博物館 学芸員）

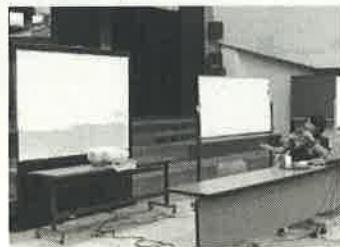
学習プログラム：



回数	日 程	内 容	参加人数
1	11月13日（水） 10:00 ~ 12:00	1. 【12世紀～17世紀前半】浮島から那覇へ「壺屋」以前について 2. 【17世紀後半～19世紀後半】近世琉球「壺屋の誕生」について 3. 【19世紀後半～20世紀後半】琉球王国から沖縄県へ「近代の壺屋」 4. 【消滅】10.10空襲による那覇のまちの焼失と沖縄戦「残った壺屋の街並み」について 5. 【戦後の復興】について 6. 壺屋の文化財について	13人

《アンケートより》

- ・分かりやすく説明しているので理解できた。特に、映像を通しての説明は良かった。
- ・大変興味深く、楽しく懐かしいお話を聞かせて頂きました。ありがとうございました。
- ・ぼんやりわかつっていたことが整理された（歴史からはじまる那覇の町・壺屋の誕生などなど）いい内容で明解でした。
- ・今までわからなかつた壺屋のことを知ることが出来た。
- ・焼物を好きということだけで参加しました。琉球の歴史も深い知識はないので、良い機会だと思い参加しました。これを機に焼物博物館にも行きたいと思います。
- ・那覇・壺屋の歴史が分かりやすく聞けました。
- ・初心者であるが、分かりやすい説明で大変良かった。



《まとめ》

沖縄の歴史が好きな方以外に、焼物や壺屋に興味を持っている方と、それぞれが違った角度からでもより踏み込めるような内容の講座でした。「那覇市から600年前のツメ型文の土器が出土したらしい！もっと知りたい」等の受講生からの声もあり、回数を設けて開催する講座であってもよかったです。

4 青少年対象事業

[1]少年教室

少年教室 in 秋～沖縄の山を体感しよう！～

趣 旨：石川岳周辺の動植物の観察や星空観察など、普段の集団学習で体験する機会が少ない学びを深め、異世代交流を通して創造性や協調性を養う。

期 間：令和元年9月15日（日）～9月16日（月）

※事前説明会9月7日（土）10:00～11:00



場 所：沖縄県立石川青少年の家

対 象：那覇市在住・在学の小学4年生以上

受 講 料：無料（但し、宿泊代・食事代・材料費・保険料2,500円は自己負担）

定 員：20人

申込人数：15人（うち受講決定人数13人）

講 師：佐藤 博之（理学博士）、比嘉 香織（沖縄県地域環境センター職員）

宇久 淳子（ほしごら案内人）、兼本・又吉（石川警察署 警務課）



学習プログラム：

		日 時	内 容
1 日 目	9/15 (日)	11:00	集合・入所式
		12:00～12:45	昼食・自由時間
		13:00～15:30	自然観察（石川岳A）
		16:00～17:00	レクリエーション（体育館）
		17:00～18:00	入浴
		18:00～19:00	夕食（食堂）
		19:00～20:30	星空観察（大研修室）
		21:00～22:00	自由時間
		22:00	就寝
2 日 目	9/16 (月)	6:30	起床・身支度
		7:00～8:00	朝食（食堂にて）
		8:00～9:00	清掃・荷物まとめ
		9:00～10:30	石川警察署による防犯や、警察官のお仕事などについてのお話（体育館にて）
		11:00	退所式



《アンケートより》

- ・色々な植物の名前やその植物の不思議な特徴などを知り、沖縄や世界中の生き物などを知ることが出来た。
- ・友達と助け合い仲間と一緒に行動してやることが出来ました。みんなとの協力で、楽しみ学ぶ心で真剣に考えることができてよかったです。
- ・星空観察の時には88星座があることがわかりました。また、石川署の人の話も忘れないようにしたいです。
- ・望遠鏡の使い方がわかったが、ピントを合わせるのは難しかった。
- ・ちがう学校の人と友達になれてよかったです。

《まとめ》

天候に恵まれず石川岳には登れませんでしたが、絶滅危惧種の話から世界遺産登録を目指す意味を学んだり、星座の話や警察のお仕事など、盛り沢山の少年教室になりました。

[2] 青年講座

ヒマワリを咲かせよう～サンフラワープロジェクト in 与儀公園

趣 旨： 新成人が中心になって那覇市民や近隣の子ども達の力により、与儀公園が「親しみを持ち、楽しめる公園」に戻る布石となるようにする。

期 間： 令和元年10月17日（木）～11月10日（日）

場 所： 中央公民館等

対 象： 神原中学校区新成人

受 講 料： 無料

参加青年数：5人

参加市民数：76人



No	期 日	場 所	内 容
1	10/17(木)19:30～21:00	真和志支所会議室	事業説明
2	11/7(木)18:45～19:40	中央公民館事務所	前日打合せ
3	11/10(日)9:00～13:00	与儀公園	作業実施

《アンケートより》

- ・自分の住む地域に関われて良かったです。
- ・地元の人が親切に手伝ってくれてすごく嬉しかった。
- ・完成イメージと大きく差があったけど、目標の地域交流とイメージ向上に繋がったと思う。
- ・予想外の事態に対応できなかつた。
- ・説明もわかりやすかつたので良かった。
- ・最初はどうなるかと思ったけど、皆親切に手伝ってくれて早めに終わって、今回の計画は僕達だけでは出来なかつたので、本当に皆さんに感謝です。



《まとめ》

中心となる青年（新成人）と連絡を取り合うのが難しかったが、SNS アプリを利用して詳細で具体的な説明が可能となった。当日参加した青年は5人と少なかったが、作業が進むにつれ自発的で積極的な姿を見ることができた。初めてシャベルを使った青年もあり、スタート時は戸惑いも見られたが、終了時にはもっと作業をしたいという意欲が見られ成長を感じた。種まきの参加だけではなく、進んで土を耕す一般参加者も多く、学校配布のチラシを見て遠方から参加した親子は、朝早く受付を済まして最後まで熱心に作業をしていた。通りかかった小学生や高校生、広報を見て来場した大人や親子など、たくさん的一般参加者と青年達が一緒になって、不慣れなシャベルや鍬で土を耕して種を蒔く姿に与儀公園が「愛されている」ことが感じられた。

使用された紫色の珍しい種は秋田県大館市駅跡内から送られた（地域の様々な団体や農家、住民が一体となってひまわり栽培に取り組み、収益を地域に還元。それが地域振興・観光振興にも寄与し、中心となっている小学校の児童生徒は自立と起業精神を学んでいる）。花が咲き、収穫された種は市内小中学校に寄贈していく予定である。

[3] 親子ふれあい教室

子ども わくわくプログラミング

趣 旨：親子でプログラミングを学びながら、学習活動を計画的に進めることや協調性を養う。

期 日：令和元年6月29日（土）

時 間：10:00～12:00

場 所：中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学生の親子（小学3年生以上）

受 講 料：無料

定 員：10組（先着順）

申込人数：14組（うち受講決定人数14組）

参加人数：11組（28人）

講 師：宮里 弥杉（シムネットワーク 代表）

助 手：宮城 賢斗

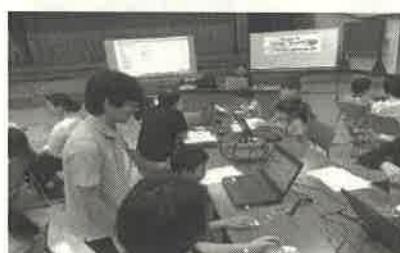
学習プログラム：



回数	内 容
1	①Scratch の基本操作 ②Scratch で猫が動いて線を書くプログラミング ③猫がネズミを追いかけるプログラミング ④ネズミが猫から逃げるプログラミング

《アンケートより》

- ・パソコンでプログラムをくみ、遊ぶという内容がとても楽しかった。
- ・動かすというのが面白くて、むずかしいゲームが出来ておもしろかった。今度は、もっとむずかしいを作つてみたい。
- ・学校にもパソコンはあるけど、プログラミングはやらないので、ゲームとか楽しくて、また来たいです。
- ・子供が興味をもって、楽しくやっていたので良かったです。
- ・以前から「スクラッチ体験」やプログラミング体験を子供がしたがっていたので、無料で気軽に参加できてよかったです。
- ・プログラミングの事が、簡単に少しでも分かり良かつたと思いました。入門用としては大変良かった。
- ・子供がとても楽しく学べていました。ただ操作するだけじゃなく、仕組みを考えることが、学校の勉強に使えたり多方面から勉強になりました。



《まとめ》

次年度から、小学校教育で学ぶプログラミングをパソコンを使いゲーム感覚で学びました。

自分が意図する一連の動作を実現するための考え方を楽しく学べる講座となり、参加者親子から好評を得た講座となりました。

子ども わくわくプログラミングⅡ

趣 旨：親子で参加することにより、児童の学習意欲を刺激し深めながら親子でコミュニケーションを図り、プログラミングを通して計画的学習方法を体験する。

期 間：令和2年2月8日（土）

時 間：10:00～12:00

場 所：中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学生の親子（小学3年生以上）

受 講 料：無料

定 員：10組（先着順）

申込人数：11組（うち受講決定人数11組）

参加人数：16人

講 師：宮里 弥杉（シムネットワーク 代表）

助 手：宮城 賢斗

学習プログラム：



回数	内 容
1	①Scratch の基本操作 ②Scratch で猫が動いて線を書くプログラミング ③猫がネズミを追いかけるプログラミング ④ネズミが猫から逃げるプログラミング

《アンケートより》

- ・学校でプログラミングをはじめてやることになったので、丁度いい時期だった。
- ・来年度から授業で始まるので、親もどんなことをやるのか興味があった。
- ・自分の思ったとおりに出来ませんでした。失敗ばかりでした。どこに何がおかれているのか、分からなくて迷いましたが、優しく教えてくれたのでなんとかプログラムを作れました。
- ・猫から逃げるゲームを作るときは難しかったけど、何回もやったらゴールできました。
- ・1回プログラミングを体験したことはあるけど、わからないところや難しいところもありました。でも、とても楽しかったです。また、プログラミングを体験できる時があったら、やりたいです。



《まとめ》

前回好評を得ての第二弾を開催。学校や家庭でパソコンを使っている子が多く、少し高度なキャラクターデザインなどを加えてプログラミング！簡単に出来ないことを悔しがっている児童もいましたが、さらにチャレンジしたいという声もあり、子供達のたくましさを感じられる良い親子ふれあい教室となりました。

『さくらねこ』って何！？

趣 旨： ペットは一生の家族。最後まで責任をもって、犬や猫を飼うことを学び、地域猫などの現状について親子で考える。

期 日： 令和元年12月15日（日）

時 間： 10:00～12:00

場 所： 中央公民館ホール

対 象： 那覇市在住・在学の小中高校生の親子（小学3年生以上）

※中高校生1人での参加も可能

受 講 料： 無料

定 員： 15組（先着順）

申込人数： 5組（うち受講決定人数5組）

参加人数： 11人

講 師： 畑井 モト子

（TSUNAG OKINAWA/琉球わんにゃんゆいまーる 代表）

学習プログラム：



回数	内 容
1	野良猫が増えないように、全国的に広がるTNR活動。 「さくらねこ」と呼ばれる猫達について、親子で学ぶ。

《アンケートより》

- ・さくらねこもノラ猫も、飼い猫みんな同じねこと聞いて、やっぱそうだよなあと思った。
- ・猫が生きていくには、不妊去勢手術は大切だと思った。
- ・猫を保護して不妊去勢手術をすることは、そんな残酷でないこと。
- ・さくら猫の存在を初めて知り公園等にいるノラ猫に興味が湧きました。この後、猫を以前よりも観察すると思います。今まで野良ネコについて考えたこともなかったが、今回の講座を通して、普段、自由で幸せそうに見える野良猫たちが、実は日々危険な目にあっているということがわかり、このような活動を応援していきたいなと思いました。
- ・さくらねこも、ノラ猫も、飼い猫もみんな同じ猫。一生懸命いきているだけ。
- ・殺処分されてしまわないように、私もTNRを手伝いたいです。



《まとめ》

TNR活動がボランティアで行われている以外に、地域の協力や理解、すべての人の共通認識がないと、この活動自体が意味を持たなくなってしまうことを子ども達に伝え、考えるきっかけになった講座となりました。

5 家庭教育事業

[1] 家庭教育学級

自己肯定感＊自分にOK出してますか？＊

趣 旨：沖縄の子どもたちは全国的な調査データからみても自己肯定感（自尊感情、自尊心、自己効力感）が低く、それが不登校や学力不振とも深く関わっているということは否定できない。また自己肯定感が低いと鬱病など健康面の不調にも繋がる。親自身の自己肯定感が低いと、それが子育てに影響することも考えられる。困り感が高い人だけではなく、家庭教育に熱心で気になっているという親まで幅広く需要がある。

期 日：令和元年7月20日（土）

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤の保護者・関係者

受 講 料：無料

定 員：30人

申込人数：72人

参加人数：73人

講 師：西本 裕輝（琉球大学 教授）

《アンケートより》

- ・心のモヤモヤが軽くなったと思います。そして自分に何ができるかを考えてみるキッカケができました。
- ・自己肯定感を上げる為の方法や考え方のヒントが得られた。
- ・講師の映像の作り方がとても良く理解できた。実際に目で映像を見ると理解が深まりました。（特に逃げ恥）
- ・全部良かったです。ありがとうございました。
- ・ストッキングの法則、実行してみたいです。自分も認知行動療法を行って自己肯定感を高めたいと思いました。
- ・子どもを育てる親としての生活習慣を大事にし、愛情をもって接し、自己肯定感を高めていきたいと思う。
- ・今日、講座に参加してためになりました。考え方のバランス感覚の大切さを再認識させられました。ありがとうございました。
- ・動画などを活用して、飽きずに聞けました。データなどとても勉強になりました。沖縄の子ども達の自己肯定感が上げられるようにするには、子ども・家族・学校・地域が共に手を取っていくないと難しいんだろうなと日々実感しています。自分のできることを模索してみます！
- ・アツという間の2時間でした。映像やグラフなどを取り入れ分かりやすかったです。基本生活を整えることやマズローの1段目2段目は日本は整っているので満足して3段目以上に進んでいけたらと思いました。
- ・子育てする時に自己肯定感が低くなるような状況が多くある気がしますが、そんな時こそポジティブにアクティブに楽観的に過ごすことが自身のためにもなるのかと思いました。



《まとめ》

当初30名の定員であったが、受付開始直後から大きな反響があり、会場を変更して対応した。当日は台風の影響が抜け切らない悪天候の中、大勢の「子どもをさらに高めてあげたい」向上心の高い受講者が集まった。質疑応答の時間も熱い声が多く、講師もそれに応えた充実の2時間となった。同じ内容を更に企画して欲しいという声も多く、需要の高さを改めて感じた。同時に「不登校」というキーワードも出てきたので次月に行われる講座の紹介も行ったが申込みも多かった。

学校に行けない子ども達～世界を広げる～

趣旨： 学校に行けない子どもはダメな子なのか？保護者が抱える困り感。3年連続の同テーマで取り組む。今年度は、子どもが不登校だった経験をもつ親子や、生まれ持った気質について、支援活動している講師を揃える。長期休み明けの登校しぶりが危惧されるため、不安感が高まる長期休み明け目前に合わせて開講とした。

期間： 令和元年8月3日（土）～8月24日（土）全4回

時間： 10：00～12：00

場所： 牧志駅前ほしざら公民館 第1学習室・ホール

対象： 那覇市在住・在勤の方

受講料： 無料

定員： 40人（第1学習室）・50人（ホール）

申込人数： 94人

参加延べ人数： 161人

講師： 安次富 亮伍（Kukulu）、武藤 杜夫（日本こどもみらい支援機構）、LGBT当事者
仲真 美希（HSPカウンセラー）、盛島 美奈子・盛島 楓



No	期日	内 容	講 師	人 数
1	8/3（土）	なぜ不登校になるのか？	安次富 亮伍	37人
2	8/10（土）	僕の行く場所がこどもたちの「居場所」 ～待つ支援から探す支援へ～	武藤 杜夫	47人
3	8/17（土）	LGBT（性同一性障害）を知っていますか？ HSC・HSP（人一倍敏感な人）ってなに？	LGBT当事者 仲真 美希	37人
4	8/24（土）	正しく生きるより丁寧に生きる。	盛島 美奈子・楓	40人

《アンケートより》

- ・今回の講座は不登校を経験した当事者、支援者が講師なので様々な立場からの問題へのアプローチを伺うことができて、まさに世界が広がりました。これから自分ができることを考え、行動していきたいです。不登校が正しくないことではないと思うので、子どもの多様な学びが充実していくといいなと思います。生きづらさを抱える人のいない社会が実現しますように。
- ・毎回いろいろなお話を聞けて貴重な体験ができました。ありがとうございました。また参加したいと思いますので宜しくお願いします。
- ・当事者の声が聞けてよかったです。
- ・受講してみて、不登校で悩む方や関心のある方の多いことを知りました。各回とてもためになるお話で、参加できてよかったです。これからも公民館講座で悩みを抱える保護者の助けになる講座を企画してください。また参加します。
- ・今、まさに聞きたい知りたい内容で、とても心が落ち着きました。



《まとめ》 3年目となる講座である。これまで取り上げてこなかった非行や生まれ持った資質についてなどで構成した。それぞれが学びとったことを家庭で活かしてもらえば良いと思う。「大人が考えて学ぶことによって世界が広がる。それが子どもの世界を広げることにも繋がる」ことを私自身が改めて感じたし、受講者にも伝わったと思う。受講する事によって安心感だけではなく、もっと子どもについて知りたいという自発的な思考になれたことも大きな成果である。前年度から続いている親の会に繋ぎ、講座終了後も情報交換や学びのために集まることになった。

他人事じゃない更年期～アナタもワタシもお年頃～

趣 旨： 子が思春期で難しい時期にさしかかる頃、親は体調が不安定でイライラしがちな更年期が気になる年齢になってくる。家庭内で親が子どもにうまく関わることができるよう、そして夫婦間もお互いの体調を思いやれるような学びの場とする。

期 日： 令和元年10月27日（日）

時 間： 10:00～12:00

場 所： 中央公民館 ホール

対 象： 子育て中の那覇市在住・在勤で更年期が気になっている方（パートナーのペアが望ましい）

受 講 料： 無料

定 員： 設定なし

申込人数： 27人

参加人数： 26人

講 師： 西平 朋子（沖縄看護大学 講師）



《アンケートより》

・参加型講座良かった。必ずしもパートナーがいるとは限らないので自分の心の持ち方など、もう少しあると良い。総合的に良かった。ありがとうございました。

・パートナーとの参加は良い試みだなと思いました。ギリギリで旦那が躊躇して参加しないと言われたので、次回は一緒に受けたいです。

・更年期も終期に入ってきた私自身には自分の「更年期」を物事の理解力がやや戻ってきた中で、医学的に再確認でき、すごく良かったです。西平先生の私的な例をあげてのご説明は「笑い」となり共感大でした。

・優しい雰囲気でとても良く理解できました。ありがとうございました。

・興味があったが具体的に学ぶ方法が分からなかったので、きっかけになり良かった。

・女性の立場、男性の立場、両方聞けて良かったです。

・チラシのメッセージがとても良かったので、そこまで更に深い内容を追求できたらもっと良かったです。

参加者同士のシェアやディスカッションもあったら良いかと思います。

・「うちあたい」することも多々ありました。とても参考になりました。ありがとうございました。

・パートナー・子ども達への対応の仕方を改めて考えさせられる機会となりました。

・老後を楽しく過ごすための考え方方が理解できた。

・夫婦間のコミュニケーション、意外と単純なことだと思いました。「ありがとう」「ごめんなさい」がお互い言える事が大事なんだとと思いました。良い機会をありがとうございました。

・自分の体の状態が理解できてよかったです。ありがとうございました。

・広い空間での講座は圧迫感が無くて良かった。

・夫婦での参加はとても良い講座だと思いました。講師の先生も男女お二人いらっしゃるなら、男性・女性の立場だけでの状況や言いたいことも平等に聞け、一方的な心の開放だけでなく相手への理解と受け入れにもなるのかとも思いました。西平先生とても楽しく「やったー」の講座でした。中央公民館職員のみなさま、講座に向けてのご準備、本当にありがとうございました。すごく良かったです。感謝！西平先生、ありがとうございました。

《まとめ》 「子は親の鏡」といわれるよう家庭内の会話や雰囲気は子どもに大きな影響を与え、親の他愛も無い言動が意外と子どもには大きな意味を持つ。父親、母親、そして子どもがホルモンバランスや置かれている社会環境によって不安定なこの時期に互いのことを理解し、考える機会になったことがアンケートからも読み取れる。今回は考えることを投げかけるのが目的であったため、もっと深く学びたかったという受講者には物足り無さを感じたと考える。もっと聞きたいことがあった、知りたかったという人に向けて「質問カード」を配布し、講座内で答えてもらうことを今後は検討していきたい。

[2] 乳幼児学級

「はじめての育児～すっきり・にこにこ・のびのび子育て～」

趣 旨：はじめての育児で抱える悩みや不安を共有・軽減し、楽しく前向きに育児に取り組めるよう学ぶ機会とする。

期 間：令和元年11月5日（火）～26日（火）全4回

時 間：10:00～12:00

場 所：中央公民館

対 象：那覇市在住・在勤の3か月～12ヵ月までの子の子をもつ親

受 講 料：無料（但し、保険料・材料費として1,500円徴収）

定 員：20組（先着順）

申込人数：17組（38人）※両親参加4組

参加延べ人数：125人

講 師：百名奈保、新垣洋平、知念康代、大城夕紀



No	日時	内容	講師	人数
1	11/5 (火)	子どもの発達と関わり方 ～今はどんな時期？～	助産院*きらきら 助産師 百名奈保	31人
2	11/12 (火)	子ども救急講座 ～こんな時どうする？！～	那覇市立病院 小児科医 新垣洋平	38人
3	11/19 (月)	リラックスヨガ ～ヨガでリフレッシュ～	ヨガインストラクター 知念康代	23人
4	11/26 (火)	アロマで手作りベビーケア ～虫よけ・風邪予防～	オーガニック&アロマ ペタルーナ 大城夕紀	33人

《アンケートより》

- ・同じ年齢の子のお母さんたちと交流でき、また講師の方たちも子育てに関する質問に丁寧に回答いただきとても勉強になりました。
- ・不安に思っていたことを話せたり、救急の時の対応が聞けて良かったです。
- ・託児を利用してゆっくり受講することができとても良かった。託児は初めてだったので不安もありましたが、毎回スタッフの方が優しく対応していただき安心することができました。
- ・赤ちゃんのことを良い意味で忘れて自分の時間として楽しむことができました。特に身体を使ったヨガはリラックスできた。アロマ作りも簡単でこちらもリラックスでき大変良かったです。
- ・情報交換の場になり、リフレッシュにもなりました。
- ・2時間子どもを預かってもらい、集中して学べるのでとても良かった。第2子以降も参加できると嬉しい。
- ・駐車場の準備があつたらしいなあと思った。子どもと離れ、集中して受講でき本当に良かった。

《まとめ》

受講生の多くは初めての子育てで不安や悩みを抱えていて、助産師や小児科医の講座では質問も多く、受講後も熱心に質問していました。ヨガやアロマ講座ではリラックスして良い気分転換になったようで受講生の表情がとても明るく講座中も笑顔が多くみられました。次回はもう少し受講生同士を繋げることができるような工夫をしたいです。



〔3〕 読み聞かせ養成講座

読み聞かせ養成講座（初級編）

趣旨：読み聞かせを通して、多くの子どもたちが絵本の楽しさを体験し、絵本に興味・関心を持てるよう読み聞かせの基礎や実践方法を学び、読書環境づくりの促進できる人材を養成し、活動の場を広げる。また、受講者自身が本を読むことの楽しみを学び、仲間作りをすることを目的とする。

期間：令和元年7月2日（火）～7月30日（火）全5回

時間：10:00～12:00

場所：那覇市中央公民館ホール

対象：那覇市在住・在勤・在学の方

受講料：無料

定員：40人

申込人数：50人（うち受講決定人数44人）

参加延べ人数：167人

講師：山内 淳子（沖縄県子どもの本研究会）
田名 洋子（沖縄県子どもの本研究会）
平田 千悦子（沖縄県子どもの本研究会）
平田 恵美子（沖縄県子どもの本研究会）



回	期日	内容	講師	人数
1	7/2(火)	読み聞かせの必要性と方法	山内 淳子	38人
2	7/9(火)	楽しい読み聞かせ ～プログラムを立てて実践しよう～	山内 淳子	36人
3	7/16(火)	絵本の種類と選び方	田名 洋子	33人
4	7/23(火)	読み聞かせにチャレンジ ～基礎から持ち方、めくり方、読み方～	平田 千悦子 山内 淳子	31人
5	7/30(日)	園児の前で読み聞かせにチャレンジ	平田 恵美子	29人

《参加者の声》

- ・初めてのことだったので、すべて新しい発見でした。
- ・自分自身の世界が広がりました。これからの自分が楽しみです。
- ・先生の読み聞かせを体験して感激した。年齢別の本も分かり良かった。自分自身、絵本に興味が出てきた。



《まとめ》 前年度と違って今年度は男性の受講生も数名おり、読み聞かせへの関心の高さが伺えました。講義中は集中して講師の話に耳を傾け、休憩中は熱心に質問されている姿が見受けられ、講座終了後の保育園での実地研修を希望する受講生も多かったです。アンケートには講師陣の講話を絶賛する声が多数見られ、これからできる限り読み聞かせのボランティアに関わっていきたいという前向きな感想も目立ちました。課題として、グループ学習の時間がもっと増えるといいという意見があったため、次回の講座につなげていければと思います。

6 その他の事業

[1] 地域連携事業

泳げるようになろうよ！水泳教室

趣 旨：地域の大学生と小学校が連携し、地域児童のために水泳教室を開催。泳ぐ楽しさを異世代交流で学び、地域活性化を目指す。

期 日：令和元年6月30日（日）

時 間：10:00～12:00

場 所：上間小学校プール

対 象：那覇市在住・在学の小学4年生以上

受講料：無料

定 員：30人

申込人数：34人（うち受講決定人数34人）

参加人数：30人

講 師：沖縄大学 福祉文化学科（健康スポーツ福祉専攻）沖スボ実行委員 10人

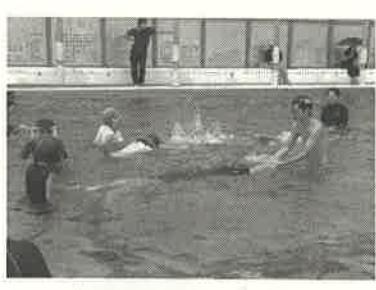
学習プログラム：



回数	内 容
1	<ul style="list-style-type: none">・ストレッチ・歩きながら息つきの練習・足をつければ息つきの練習・ビート板を使ってバタ足の練習・

《アンケートより》

- ・プールが近くにないので、学校のプールを利用しての講座は、とても参加しやすいです。
- ・学生さんと関わることが出来るのが、とても良いと思いました。
- ・イケメン先生と写真を撮ったり、泳いだり楽しかった。
- ・このような講座を、企画して頂いて、とても感謝しています。学校の授業だけでは、回数が少なすぎてプールが大好きな我が子には、とても嬉しい講座でした。大学生の皆様も、とても教え方が上手でした。
- ・今回、全然泳げない子供と水泳の講座に参加させていただきました。子供は、上間小4年生ですが、校舎建替えの為にプール授業が1年生～3年生の間になく、全然泳げない子が沢山います。今回のように先生が多く細かく泳ぎを教えて頂けて、子供も大分水に慣れることが出来たと思います。ありがとうございました。



《まとめ》

小学校の水泳授業は、泳げるようになるまでのサポートがあればいいなと感じていたので、沖縄大学生の協力を得て開催。児童も学生も仲良くなり充実した学びとなりました。

あつまれ！上間っ子 ラジオ体操♪

趣 旨：地域子ども会の数が減り、子ども達がラジオ体操をする場所がない。地域の児童、大学生、大人が一緒にラジオ体操を通して異世代交流を図る。

期 間：令和元年8月5日（月）～8月16日（金）

時 間：7：00～8：30

場 所：上間小学校 地域連携室

対 象：地域住民や地域園児、児童

受 講 料：無料

定 員：特になし

参加延べ人数：229人

講 師：沖縄大学 社会福祉文化学科（健康スポーツ福祉専攻）・こども文化学科、沖スボ実行委員16人

学習プログラム：

回数	期日	時間	内容（ラジオ体操の後）	人数
1	8月5日（月）	7：00 ～ 8：30	名前ゲーム～人間知恵の輪	22人
2	8月6日（火）		鬼ごっこ	24人
3	8月7日（水）		ドロケー	27人
4	8月8日（木）		紙飛行機 ☆FC琉球ジンベニョが来る！	26人
5	8月9日（金）		エイサー作り（ストラップ）	25人
6	8月13日（火）		セッチン	25人
7	8月14日（水）		英語ゲーム	29人
8	8月15日（木）		鬼ごっこ	26人
9	8月16日（金）		シャーベット作り	25人
参加延べ人数				229人



《アンケートより》

- ・去年のラジオ体操も楽しかったので、今年も参加しました。
- ・去年に引き続き参加しているのを見ていて、毎年大人が子供達の楽しむ場を作ることが大事だと感じています。
- ・昨年も沖縄大学の学生さんに娘たちがお世話になったので、安心して今年も参加させてもらっています。
- ・引っ越ししてきたばかりで、どこでラジオ体操がしているのか分からなかったが、小学校で行っていることを知り参加しています。娘も楽しそうで良かったです。
- ・子供達と交流することで、どんなことをしたら子供達が楽しめるか？考える事が出来た。



《まとめ》

昨年に上国場こども会と沖大生でラジオ体操を3週間実施し好評により、公民館事業で2年目を開催しました。地域の児童や大人、大学生がつながり始めました。

遊びにおいでよ！IN * 春休み *

趣 旨： 地域の子ども達の「居場所」として公民館のホールを提供し、子ども同士や地域の人（利用団体など）との関わりができる場所を確保する。

期 日： 平成31年4月3日（水）

時 間： 13：00～16：00

場 所： 那覇市中央公民館ホール

対 象： 近隣の小学校児童・中学校・高校の生徒と保護者

料 金： 無料

定 員： 設定なし



参加延人数： 25人（小学生15人、中学生1人、幼児4人、大人5人）

内 容	講 師	人 数
ニュースポーツ (ラダーゲッター、わなげ、 デッキスティック)	與座 正夫（ちゃんばらスポーツクラブ会長・スポーツ推進委員）	25人

- ・チャンバラがとってもとっても楽しかった。
- ・今日初めて公民館教室にきたけれど、ちゃんばらやゲッターが楽しかったです。また来たいです。
- ・わなげでbingoになったことが楽しかった。
- ・今日は1日だけでも楽しかったです。
- ・いろいろなおもちゃを体験して、とてもおもしろかったです。チャンバラもおもしろかったです。次も来て、いろいろな道具で遊んでいきたいです。次は他の道具もやりたいです。
- ・今日はここに来て良かったと思うし、とても楽しかったです。
- ・いろいろな遊ぶ種類が楽しかったです。特にケンの遊び道具で、みんなでとっくんして楽しかったです。
- ・とっても楽しかったです。
- ・自分で自由に選んで遊べたのが良かった。
- ・カーリング楽しかった
- ・今日みたいに遊んだり、ケイドロとかもしたい。
- ・ラダーゲッターが楽しかった
- ・わなげが楽しかった
- ・ケンのようなおもちゃで、みんなととっくんして楽しかったです。
- ・大なわとびがしたい



◎春休みは1日のみの「子どもの居場所」となった。



《まとめ》 與座講師に4種のニュースポーツの道具を準備してもらつたので、子ども達は長い時間を飽きることなく次々と違う種目に挑戦し、会場であるホールは子ども達の歓声で賑やかな3時間となった。また、子どもだけではなく保護者も共に過ごし、一緒にチャンバラなど様々なレクに挑戦する姿もあった。子どもだけでなく大人も参加することで、地域の「顔見知り」となり、防犯等でも効果があるのではないかと考える。これからも長期休みの子ども達に、安心できる居場所を提供していくべきだ。

また、チラシ配布をしていない学校からも参加があり、子ども自身から「学校でチラシを配って欲しい」という声も聞かれた。また、SNSで情報を見つけて来館した保護者や、開催時間前である午前中からソワソワして訪れた子ども達もいた。学校でチラシを配布する以外に、市の広報誌にて情報を提供していきたい。



遊びにおいでよ！IN * 夏休み *

趣 旨： 地域の子ども達の「居場所」として公民館のホールを提供し、子ども同士や地域の人（利用団体など）との関わりができる場所を確保する。

期 間： 令和元年7月23日（火）～8月20日（火）

時 間： 13:00～16:00

場 所： 那覇市中央公民館ホール・会議室（自習室とする）

対 象： 近隣の小学校児童・中学校・高校の生徒と保護者

料 金： 無料

定 員： 設定なし



参加延人数： 110人（小学生77人、中学生11人、高校生6人、幼児3人、大人13人）

月 日	内 容	講 師	参加人数
7月23日 (火)	スポーツチャンバラ 他多数レク	スポーツ推進委員 與座正夫	11人
7月30日 (火)	自由に使ってOK～♪		15人 (内自習室8人)
8月6日（火）	絵画教室	芸術大学の学生	29人＋大人6人 (内自習室6人)
8月13日 (火)	自由に使ってOK～♪		4人＋大人2人
8月20日 (火)	夏の秘密の冒険（絵本づくり）		38人＋大人5人 (内自習室10人)

- ・ちゃんと楽しかった（1回目）
- ・カーリングが楽しかった（1回目）
- ・大学生がやさしくアドバイスしてくれたので楽しく書けました。（3回目）
- ・完成して良かった（3回目）
- ・音楽を聞きながら絵をかけて楽しかった。（5回目）
- ・インタビューされたり、自分の絵が絵本になって楽しかった（5回目）
- ・静かで集中できる環境。勉強がはかどった。（自習室）
- ・自習できるスペースがあつて良かった！（自習室）
- ・涼しい空間で快適に勉強できたところ（自習室）
- ・みんなで勉強ができた（自習室）
- ・いっぱい遊べて楽しかった。（2・4回目）
- ・自由に遊べて楽しかった。（2・4回目）

《まとめ》 毎週火曜日と固定して行った。前回好評だった

スポーツチャンバラ（與座講師）に登場してもらった。楽しそうに体を動かす子ども達の笑顔が印象的である。また、夏休みの宿題として図画があるので、大学生の図画指導の日も設けた。最後の回はアーチストを迎えて自由に絵を描き、音楽家が即興で楽器演奏を行う稀な企画となった。取材に4社が訪れ、子ども達はドキドキしながらインタビューを受けていたが嬉しそうであった。

普段、友達同士で絵を描いたり勉強するという機会も少ないため、子ども達は居場所を設けることにより自由に安心して快適な時間を過ごせたようであった。これからも長期休暇のときに企画していきたい。



遊びにおいでよ！IN * 秋休み *

趣 旨： 地域の子ども達の「居場所」として公民館のホールを提供し、子ども同士や地域の人（利用団体など）との関わりができる場所を確保する。

期 間： 令和元年10月15日（火）～10月18日（金）

時 間： 10:00～16:00

場 所： 那覇市中央公民館ホール

対 象： 近隣の小学校児童・中学校の生徒と保護者

料 金： 無料

定 員： 設定なし

延べ人数： 75人（小学生54人、中学生9人、幼児6人、大人4人）



月 日	内容	参加人数
10月15日（火）	ホールを自由に使おう &ばあばカフェ	10人（小学生9、大人1）
10月16日（水）	ホールを自由に使おう	49人（幼児6、小学生35、中学生5、大人3）
10月18日（金）	サークル体験	16人（小学生12、中学生4）

・ピアノもあって、おくに和室もあって、マットもあって遊ぶのがいっぱいあって楽しかったです。でももう少しマットを増やしてほしいなーと思いました。おやつや飲み物もあって嬉しかった。

・今日は早く来て、たくさんのマットを使って、部屋を作ったことが楽しかったです。

・マットを使って遊ぶことが楽しかったです。

・自由にあそべて楽しかった。

・キーボードや積み木が楽しかった。

・おばあちゃんのホッコリしたおもてなしが嬉しかった。

・遊べてたのしかった。

・おにごっこや家を作れたことが楽しかった。

・マットをもっと増やして、お化け屋敷や迷路をやってほしいです

・秋休みでたいくつだったので、遊べて楽しかったです。ありがとうございました。

・全部楽しかった。家もおにごっこも全部楽しかった。また遊びたい。

・おうちを作れてよかったです。先生達と、かくれんぼやおにごっこができるよかったです。

・楽しかった。また来たい

・とても楽しくてケンカもだれもしなかった。

・だれも来なかつたし、遊んでくれる人がいたから楽しかった。

・めっちゃおもしろかったし、たのしかったです。



《まとめ》 長期休みの居場所として定着してきたのであろうか、子ども達も馴染みの子が多いことに気づく。いつも来る子が友達を誘って来てくれると、私たち職員は更に嬉しくなる。子ども達にとっては他校の子どもと関わる機会にもなり、新たな人間関係を作る喜びを知ることもできたようである。また、遊び方も子どもならではのアイデアがいっぱいいて、普段は敷くために利用しているマットが立体的な壁となり天井となる。稀に道具の取り合いで喧嘩が始まても、いつの間にか収まっている。それは単純に遊ぶ場というだけではなく、コミュニケーション力を育む場にもなっており、子ども達の定番の「居場所」となりつつあるのであろう。「冬休みも遊びに来ていい？」と子ども達から声をかけられて嬉しく思った。



